

(様式第 4 号)

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	平成 18 年度 上田市行財政改革推進委員会 人材・財政部会
2	日 時	平成 18 年 10 月 23 日(月) 午後 1 時 30 分から 4 時 00 分まで
3	会 場	上田市役所 本庁舎 6 階 大会議室
4	出席者	宮沢委員(部会長) 土屋委員(副部会長) 三井委員(副部会長) 小池委員 鬼頭委員、斉藤委員、米津委員【欠席委員】武井委員
5	市側出席者	(事務局) 金子行政改革推進室長、宮沢係長、久保田係長、小山主査
6	公開・非公開等の別	公開・一部公開・非公開
7	傍聴者	0 人 記者 0 人
8	会議概要作成年月日	18 年 10 月 24 日

協議事項等

1 開 会 (宮沢部会長)

2 議 事

(1) 前回の会議録について(事務局)

- ・別紙(第 2 回部会の会議概要)のとおり了解を得る。

\* 議事録の見方  
A 委員 . . .  
L B 委員(事務局) . . .  
. . . A 委員の意見に対する B 委員の意見等  
(事務局の説明回答など)

【会議資料について】

委 員 類似団体の職員定数の比較表があるが、消防職が入らないのはなぜか。

L 事務局 定員管理上派遣職員については、カウントされない为上田市の場合は入っていない。

L 委 員 上田市の広域連合派遣の消防署職員数は何人か。

L 事務局 平成 18 年 4 月 1 日現在で 147 人(青木村職員含む)。

L 委 員 民生部門が多いがどんな分野か。

L 事務局 主に保育園や福祉事務所の関係であり、公立保育園の数によるのではないか。

(2) 具体的検討

【部会のまとめについて】

『過去 2 回の部会で出された意見等を踏まえ、7 つの項目(適正な定員管理 人材育成と人事評価制度 給与と福利厚生事業 収納対策の強化 補助金等の見直し 未利用公有財産の活用 外郭団体の見直し)をまとめた案について事務局より説明する』

委 員 JT 跡地の購入は市民に相談することが必要だ。市が購入する場合、独自で買ってよいのか。

L 委 員 議会の承認など、ルールがあって行っているのではないか。

L 委 員 議会では、まだ検討されていないようだ。

委 員 指定管理者制度については、具体的にどのようなになっているか。

L 事務局 組織・情報部会で議論しており、全体会で報告される。

委 員 補助金の見直しについての基準はあるか。

L 事務局 予算査定段階で財政課が査定しているが明確な基準はない。

L 委 員 すべての分野(補助)に基準を設けるのか。

L 事務局 団体運営に対する補助についてであり、提案公募型の補助へ移行し、終期を決め、公表する仕組みを入れたい。

L 委 員 前回の会議で一律 %カットという考え方があった。

委員 大綱へは、「いつまでに、何を、どうするのか」は盛り込まれるのか。

↳事務局 基本的な理念になる部分と国で求められている集中改革プラン、具体的な数値目標が入る行動計画の3点セットとして大綱を定める。平成21年度を目標とする集中改革プランには目標値は入れたい。

↳委員 いくら減らすのか、数値目標が入らないか。

↳委員 収納率には数値目標が入っているので、補助金の見直しについても数値目標がほしい。

↳委員 PDCAのサイクルを用いて目標管理したい。いつまでにどうするかは入ったほうが良い。

委員 予算で補助金総額はどのくらいか。

↳事務局 平成18年度予算で約30億円。

委員 他市の例として、松本市では平成18年度で5,400万円の補助金の削減を目標としている。

委員 急には補助金の削減はできないので、3年後に %削減としたほうが良いのではないか。

↳委員 過去に補助金の見直しをした経緯はあるのか。

↳事務局 一律カットはあるが、団体からの苦情もあった。何か根拠があれば良かった。

委員 見直しの基準を平成19年度に作成し、数値目標については、団体補助について特化したらどうか。数値は目標として、毎年度、検証できるようにしたらどうか。査定基準については今回出している基準（事業費補助への移行 公募提案型補助金 終期設定補助金制度の公表）を生かしたらどうか。

委員 平成19年度の予算編成はでどうなるのか。

↳事務局 財政課では、補助金を1件ずつ見直しするようだ。

委員 基準に照らして見直しをすると、増やしても良い補助金もある。一律カットするのではなく。総額でカットとすればどうか。

委員 補助金を長年継続して出している団体はどこか。

↳事務局 婦人会や社会福祉協議会、スポーツ団体もある。スポーツ団体へはスポーツの振興ということで体育協会へ一括して出ており、体育協会から加盟団体へ補助がされている。

↳委員 構成人数や加盟団体数などの物差しがあると思う。一律カットではなく、基準を設定することが必要だ。財政課で目標値が立てられるか事務局でヒアリングしてほしい。

委員 大綱の行動計画にはどのようなことが計画として載せられるのか。

↳事務局 答申をいただいた後、市役所内部で行動計画を作ることになる。具体的な目標値を行動計画に入れるために審議会で基準を出していただきたい。行政として補助金を総額 %カットと自らが決めるのは難しいこともある。

委員 平成19年度は委員会として何をするのか。

↳事務局 個々の計画や検討課題について審議していただく。

委員 未利用公有財産については、数値目標が入らないか。

↳事務局 具体的な数値は入れたい。

↳委員 売却するにしても相手がいることであるので具体的な数値を入れることは困難ではないか。

↳事務局 公有財産管理室で考えを聞き目標を立てていただく。

委員 人事考課や評価制度の構築については「いつまでに」という様な時系列の目標値がほしい。

委員 予算の分権化についてはどうか。市民が関心を持っているところでもある。システム化できていないと分権化できない。

↳委員 財政課のヒアリングの中で検討したい。

↳事務局 予算編成の分権化は、大綱に入れたい。

委員 未利用地として残っている土地があるのはなぜか。

↳事務局 当初は計画があり、先行的に土地開発公社で取得したが、計画が進んでいないためである。

委員 福利厚生事業について、永年勤続者への旅行招待（20年金以上勤務した場合100,000円の旅行券の給付）などは総務課と協議し、見直してほしい。

委員 議会についてはどうするか。

└ 委員 議会事務局とヒアリングをし、議会としての考えを聞いてから大綱に入れたい。

（3）その他

・日程の変更について了解を得る。

【広報について】

委員 途中経過を広報すべきではないか。

└ 事務局 最終的に答申をいただいた時には広報を予定しているが、日程的に可能であれば途中経過を11月に実施したい。

次回：全体会・・・11月7日（火）14：00～ 南庁舎 第3～4会議室